

## 市民と議員の意見交換会（庄内会場）

- 日 時 平成28年11月15日（火）19:00～20:36
- 会 場 市役所本庁舎新館1階市民ホール
- テーマ 震災の影響、少子化・農業問題について
- 出席者 12名

### ○各グループの意見を付せんで分類

- （青：震災関係）（黄：少子化・農業関係）（緑：その他について）
- （赤：議員から）（書込：付せん以外に書かれたもの）（【 】：大分類の見出し）

#### Aグループ

##### 【被害認定、被害対策に問題あり】

- （青）庄内地区は場所によって被害の大小があった、地盤の強弱がありそう→要調査
- （青）外から目立たないところ。例：風呂のタイルひび割れ、目地落ち等の修理費が発生した
- （青）震災被害の認定が、損保会社と市との認定が異なる、どうしてか
- （赤）市の査定の方が民間より厳しいのは問題だ
- （青）市道等が影響を受けたのにどこまで判断するのか

##### 【復旧・復興が遅い】

- （青）被災後の復旧・復興の出遅れ
- （青）ガレキ処理、廃材処理、期間が短い

##### 【情報・アピール不足】

- （青）高岡地区の震災被害のアピール不足
- （青）皆さんは危機感を感じている
- （青）市民に対しての情報伝達の不足、防災ラジオの操作ミス

##### 【支援金・義援金に問題・・・】

- （青）義援金の使途が果たして・・・どうか。
- （青）神社・仏閣・公民館等の震災に対しての助成金は？
- （青）支援金が少ない
- （青）義援金の募集を被災地の皆さんにしたが、どこまでするのか

##### 【震災で人が減る】

- （青）震災による高齢者住宅の引越しによる人の減について

##### 【枠外】

- （青）自治委員として避難所を開設しましたが、来る人はいなかった

##### 【後継者不足】

- （黄）農業後継者不足

- (黄) あと10年もすると後継者が居ないので農地が荒れる
- (黄) 晩婚化による高齢出産の為の少子
- (黄) 農業の跡継ぎが育ってない
- (黄) 高齢化による中断
- (黄) 仕事優先による出会いの場がない
- (黄) 若者が少なく、そんな環境にない
- (黄) 若い人少ない (定住者)

#### 【中山間地の今後】

- (黄) 山間地による環境の変化
- (黄) 中山間地の15年、期間が少し長い
- (黄) 農地が集約されるとやめる人が多くなる
- (黄) 農場、圃場の悪さ

#### 【定住・移住者への支援】

- (黄) 地区の特産品等の情報はどのように広報している？ → 知る手だては
- (黄) 農業機械の高額化
- (黄) 耕作放棄地を買った(福岡から移住)が、農地再生のための補助がほしかった(補助ゼロ)
- (黄) 若者による農業に対する所得不安
- (黄) 小規模農業では、それで生計を維持するのはむづかしい

#### 【枠外】

- (黄) 鳥獣被害、トメサシを促進して。猟友会などに委託
- (赤) 駆除員に補助が出るので駆除員になって。湯布院に処理場が出来た

### Bグループ

#### 【復旧に時間かかりすぎ】

- (青) 天神山駅前の全面通行止め。4月に県道から市道になったが、復旧に向けて時間がかかりすぎると思う

#### 【震災の対応が遅い】

- (青) 当自治区においては、瓦のはがれ53件、ブロックの破損1件、石垣の倒壊1件
- (青) 自治区自主避難所の開設

#### 【市役所の対応に問題あり！】

- (青) 市役所の対応にバラつきがあった
- (青) 被災者対応で本来業務に支障をきたしていたようでした。能力？
- (青) 地震の際、市の対応、ブルーシートの準備、自治委員さんに連絡が欲しい
- (青) 自治委員に一報を入れて欲しかった

#### 【防災ラジオ、周知が不十分】

- (青) 市の防災とラジオ局の対応はどうなっている
- (青) 防災ラジオにすぐ割り込んで
- (青) 防災無線(ラジオ)が役に立たない

(青) 周知の問題あった。バラつきあり

**【自治会に寄付負担？】**

(青) 東部1区では一部損壊の家屋もあったが、経済的には直接的に影響はなかったと思われる。班長会議等でも意見はなかった。ただ募金についてはいろんな意見がありました。今後の課題です。

(青) 4団体合同の募金（一戸、一口千円）被災者も負担？

**【もうからない農業！】**

(黄) 単価が安い。機械を買うと借金しか残らない

(黄) 後継者不足といわれるが、単価問題と農機具が高額のため、元は取れず残念せざるを得ない

(黄) 米より飼料米の方が高い・・・

**【もうかる農業！】**

(黄) もうかる農業を目指す方法を考えることが大切である

(赤) 集落営農の促進でもうかる農業に、法人化。大豆・小麦で補助金を。ふるさと納税の返礼品に梨を。

(黄) もうかる農業の指導をして欲しい

(赤) 指導員が思う指導と農家とは違う

(黄) 6次産業化をもっと進めて欲しい

**【若者の定住に向けて】**

(黄) 親が子どもの結婚に口出し過ぎる。収入、仕事、結婚の機会がなさすぎる

(黄) 出生数が20人台、若い世代を増やすには住宅（公私共に）建設。本庁舎方式、県外者の採用もあることから、庄内地域に住宅必要

(赤) 庄内地域に若者定住住宅の予定ある

(黄) 若者が戻って来ない。仕事がない

(黄) 文教にも力を入れるべき。環境の整わない地域で子育てしようとは思えない。公民館の新設に期待したい。

**【キメ細かいサービスを】**

(緑) キメ細かいコミバスの運行をしてほしい

(緑) 公共交通活性化

(緑) ユーバスの時刻表が見にくい → 病院利用者向け、買い物向け、など見やすいパンフレットに

(赤) NPOをバスを買って運行などできれば。

**Cグループ**

**【震災関係】**

(青) アワノ地区の人達が道が通れず、湯平廻りですごく時間がかかっている

(書込) 震災と一般工事の違い、情報提供を

(青) 修理業者が少なく困った

(青) 地震被害、本人は気がつかない、被害の救済について

- (青) 地震被害多大
- (青) 農免道路の陥没
- (書込) 市道管理
- (青) 集会所の被災
- (書込) 復旧の目途たった
- (青) 民家瓦の崩落7戸
- (書込) 一部損壊、レベルの問題がある
- (青) 水路水田の決壊
- (青) 住宅被害の診断について、外見上のみで家屋の中は見えていない、一部損壊の中でも被害の大小がある。
- (青) 届出の期限の設定（後からでも受け付けて欲しい）
- (赤) 復旧復興の工事が遅れている、市の対応が遅い。
- (赤) 市の調査が、工事施工が遅すぎる
- (赤) 天神山駅付近の工事遅れに対する対応
- (書込) 申込み期限後について、受付けはどうだったか。
- (書込) 3月31日まで県道、4月1日から市道 → 情報を知らなかった。

#### 【農業・少子化関係】

- (黄) 梨の次の特産品、例えば桃
- (書込) 特産品として新たに
- (黄) 家付きの農地の場合5反以下でも買えるように
- (赤) 農振法や農地法が新規就農に難しい、規制が厳しい
- (黄) 規模拡大、地形や高齢化により、農産物の価格の不安定等の対策
- (黄) 庄内米のブランド化
- (黄) インフラ整備が遅れ、段々畑、水路が素掘りが多い
- (書込) 梨や水稲は庄内のブランドでもった。今後は心配である、特に梨が大変になる、太陽光エネルギー
- (赤) 農地を買うより、小作化でネットワーク化する
- (黄) 一人暮らしの高齢者の交通確保
- (黄) 鉄道（駅）の近くに住宅地を
- (黄) 当地区も少子化・高齢化が進んでいる、65歳以上世帯は50%超。若者が定着できるような施策が欲しい
- (黄) 若い人がなぜ結婚しないのか
- (書込) 若い人が住みやすいまちにして欲しい。家を提供するなど。そのための施策を講じて欲しい。政策を同時進行、職場、住む場所

#### 【その他】

- (緑) 仕事場をつくる
- (緑) 行政がやらないことをNPOがやっていることに支援がない
- (緑) 福祉対策、在宅介護に対する問題点
- (緑) 老老介護（年金が少ない）

(書込) 大学を誘致する。農学部など

(書込) 住みたくなるようなキャッチコピーが欲しい、JRでの通勤、団地化。人がいい、水がいい、空気がいい

## ○各グループからの発表

### ○概要

#### Aグループ

・被害認定被害対策では、市と損保会社とで査定に開きがある。それは、損保会社は利益に係ることであるので真剣に審査していた。それに対して市の方は、国の基準があることで、それに応じて認定をするので、勉強不足や知識が少なかったのではないかということです。意見としては、職員はいい機会でもあったので、こういうことを学習し、勉強をしていただきたい。

・支援金と義援金については、どのくらいあるのかというのに対して、使い道やどうなっているのかが情報として伝わっていない。(市報に載っていたか。)

・義援金を被災者にもお願いしたが、どこまでしたのか。

・農業で、庄内町は後継者不足です。あと10年もすると後継者がいなくなる、農地が荒れる。晩婚化で少子化になるのでは。

・仕事優先で出会いの場がない。婚活事業をやっているが、どれくらいの成果があがっているのか気になる。

・後継者不足と同時に、高齢化によって農業を中断しているところが多くある。

・中山間地が15年目になるが、1回が5年でなく2年にして長く続けてもらいたい。

・移住者に補助金が何もないので、何かしらの補助金を出してもらえないか。

・農業機械があまりにも高いので買い替えが出来ない。これも農業がすたれていく原因になっている。

・地区によっては特産品があると思うが、その情報があまり入って来ない。

・農業の所得が少ないので、若者が就いてこれない。

#### Bグループ

・震災に関して市役所の対応は、まずまずの対応をしたのではないか。

・防災ラジオに関しては、震災があった時点で早急に流すべきところを、テレビで震度を知ったということで、もう少し素早く対応してはどうか。

・ブルーシートの配布のことを防災ラジオで流さなかったのは残念。

・自治委員に知らせてくれれば、公民館を開放したが。自治委員さんによっては自主的に開放した自治委員さんもいました。

- ・防災ラジオでの周知が不十分で、バラつきがあった。
- ・災害の対応が遅い。自治区自主避難の開放をもう少し早く対応すればよかったのではないか。
- ・義援金で、区民の人からお叱りを受けた。これは自治委員で決めたことですが、市役所とは直接関係はなかったのですが、私もお叱りを受けました。
- ・農業はもうからない、やる人がいないということはもうからないということなので。先ほどありました、300万円のコンバインを買うことは大変だということです。
- ・高齢者の運転免許の返納については、もっときめ細かいサービスを。決まったところを定期的に走るのではなく、もっと細かく、例えば病院の中まで入るとか、スーパーの中まで入るとか。これは問題があるそうですが、そういうことも考えてやっていければいいと思います。
- ・若者定住に関しては、住宅事情が大変悪い。市が一定の土地を買い上げて、それを若者に分譲して、そこに住宅を建てるという計画の説明を受けました。
- ・防災ラジオの対応が悪い。この対応を一本化して、はっきりしてもらいたい。
- ・天神山の道路事情ですが、復旧に時間がかかり過ぎである。もう少し早く対応してもらいたい。
- ・もうかる農業をやってはどうか。もうかる農業を何とか考えてもらって、農政課やJAの営農指導の方にももう少し突っ込んで、今の時期は何を売ったら儲かるのか、何を売ったら一番いいと。もっと突っ込んで説明会をして、周知徹底してはどうか。

## Cグループ

- ・農業は儲からないと皆さんは言うのですが、その中である人が桃をたくさん出してくれましたが、それが飛ぶように売れるのですね。桃と梨は共通の農薬が多いようなので、桃が次の特産品としていいのではないかと思います。
- ・お客さんと呼べる商品は唯一梨です。
- ・庄内と言えは梨である。しかし、梨が衰退化していようと、日田がメインになり選果場が移るのではないかとという人もいる、危惧がある。
- ・考え方で儲かる商売は絶対に出て来ると思う。米については皆さん自信があるので、この米をブランド化に。2年前から庄内神楽米というネーミングで売っているが、やっと売れるようになった。地域で盛り上げていけば、梨・米は最高に売れると思う。
- ・農業と少子化は切り離せない部分がある。庄内は農業が主の町である。
- ・線路は武器になる、庄内も通勤圏内になる、駅周辺に安い分譲地を。
- ・農地法では5反以上ないと農地を買えないが、竹田市や大分市では1アール以上あれば購入出来る制度を導入している。由布市でも導入すれば、自給自足をしたい年金生活の人は多いのです。そういう人が住み始めると、それに伴って若い世代がそこに住むようになります。そうすると少子化もおのずと改善されていくと思います。
- ・少子化を早急に解決するために、庄内は「人よし・水よし・空気よし、住みたくなる町庄内町」これをキャッチフレーズに、若い世代の方がどんどん来るような形でイメージアップしていけばいいと思います。

- ・震災を受けて修理業者が少なくて困った。被害が多めで、道路が陥没したり、集会所が被災して避難所にならなかった。大きな地震があった時には仮設住宅をどこに建てるかとか、防災計画の中であるでしようが、場所の選定は早めにやっていた方がいいのではないでしようかという意見。
- ・道路については、復旧が遅い。その何故かの情報が最近市報等が出たが、なぜ通れないのかという情報が早く欲しい。
- ・被害の診断で、外見上であり内部を見ていないとか、一部損壊でも被害の大小があるという意見。
- ・申込み期限が分からない部分があるので、期間を長く。後からでも受け付け出来るようにして欲しい。

## 全体会

(市民)

・庄内は農業が主体の町です。1町の農家では収入が70～80万円に対して、コンバインは300万円であるので、こういう農業を続けることは出来ない。また、若い者に続けてということも言いづらい。そういう農業問題が解決すれば少子化も解決する。このことをどう考えているのか。

(市民)

・鳥獣被害のとめさしの職員の育成養成はどこまで進んでいるのか。わなをかけて後の処理が出来ないのです。中山間地で出来る人がいるところはいいのですが、いないところでは困っている。出来なければ、猟友会の方を指定して、その方に手当を出して役目を果たしてもらおうようなことも必要ではないか。

## ○意見交換会参加者のアンケート集約(意見、意見交換会をどのような方法で知ったか)

庄内会場(11月15日)(出席者12名)

1. 若い世代が定住して、子育てできるように、あらゆる面で多角的に取り組んでいただきたい。庄内町の同級生、20数人では何とも光が見えない。将来を見すえて、よりよい方向に向かいますように。(市報・回覧板・議員の案内)

2. 異なる地区の方との意見交換会であり、地域差を感じ、ある程度参考となり方向性が理解出来ました。この交換会を受けて議員の方々の頑張りに期待します。お尋ねします、水稲、梨など果樹、野菜等の部会別の意見交換会は開催されるのでしょうか。(74歳)

3. 討論、意見交換の場で、時間不足のため十分な発表、発言が出来ない。本日の意見

がどこまで取り上げられて反映されていくのか期待しています。何らかの形で今回の討論会を公示してください。（市報・回覧板）

4. 良い意見が多く出まして参考になりました。参加者が少ない様に感じました。（自治委員として案内）

5. いろいろな事情を知れてよかった。（その他、63歳）

6. （回覧板、67歳）

7. お年寄りの交通の便を考えて欲しい。（市報、68歳）

8. 由布市は少し動きが遅いと思います。市議の方々が中心に次世代の為に頑張ってもらいたいと思います。ありがとうございました。（市報・回覧板、62歳）

9. 意見交換タイムが短い。（議員の案内）

10. この会に参加して皆んなの意見が聞けて大変有意義な会だったと思います。（回覧板、69歳）

11. 初めての出席で自分としての意見は充分でなかったと思う。（回覧板）

12. 町民の参加が非常に少ない。なさけないです。今後もワークショップは続けて欲しいです。（回覧板、67歳）